

施策	主な取組み	取組み内容	事業計画(目標)	H28年度 取組み実績	H29年度 取組み実績	H30年度 11月16日現在	進捗 状況	コメント	関係課	
I 家庭・ 地域に おける 子ども の読書 活動の 推進	1 はじめての絵本事業 【重点】	・はじめての絵本事業 絵本パックを贈ることで、早い時期から子どもが本とふれあうことの大切さを啓発し、絵本の読み聞かせ等への参加を促す。	・配布率向上のため、母子健康手帳交付とあわせて、絵本パックを配布することで、配布率100%を目指す。	・新生児への絵本の配布率 78%	・新生児への絵本の配布率 96.6%	・前年同様に実施中	A	配布方法を見直した結果、配布率が向上している状況から、大変順調とした。引き続き、家庭における子どもの読書活動を支援するため、本事業を継続していく。	中央図書館/庶務課	
	2 家読(うちどく)の推進 【重点】	・「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」事業を通じた啓発。	・家庭における読書活動の習慣化、「家読」の推進を、読書カードを通して行う。	・読書の記録のページや、「家読のすすめ」のページで啓発を行った。	・読書の記録のページや、「家読にチャレンジ」のページで啓発を行った。	・読書の記録のページや、「家読にチャレンジ」のページで啓発を行った。	・2月配布予定	B	全市の幼児・児童・生徒を対象とした、読書活動の啓発を行うことができた。「家読」の認知度は上がってきたが、「家読」に取り組む家庭を増やしていくことが今後の課題と考える。	子ども図書館
		・「家読」チラシの作成・配布	・家庭における読書活動の推進のため「家読」チラシの配布を継続的に行う。	・市内の保育所・幼稚園の全幼児、小・中・特別支援学校の1年生に配布した。 ・若年教員の研修会で、チラシを配布した。	・市内の保育所・幼稚園の全幼児、小・中・特別支援学校の1年生に配布した。 ・若年教員の研修会で、チラシを配布した。	・市内の保育所・幼稚園の全幼児、小・中・特別支援学校の1年生に配布した。 ・若年教員の研修会で、チラシを配布した。	・2月配布予定	B	H29年度は、ポスターを作成し、市立幼稚園、小・中・特別支援学校の全校に配布し、掲示を依頼した。また、市内の市立図書館、市民センター、子育て関連施設、モノレール駅等にポスターを掲示して、啓発を行った。	子ども図書館
		・家庭チャレンジハンドブック読書マイスター表彰	・各校において、「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用し、家読の効果などを家庭に啓発するとともに、読書マイスターを表彰し家読の一層の励ましを行う。	・学校図書館職員研修などで読書の重要性や家読の効果などを周知した。	・学校図書館職員研修などで読書の重要性や家読の効果などを周知した。	・学校図書館職員研修などで読書の重要性や家読の効果などを周知した。	・学校図書館職員研修などで読書の重要性や家読の効果などを周知した。	B	各校において、「家庭教育ハンドブック」を使って読書の重要性や家読の効果などを周知した。	指導第一課
	3 「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」事業	・早寝・早起き・朝ごはん・読書カード事業	・保育所・幼稚園の事業参加施設数 90施設	・保育所・幼稚園の事業参加施設数 95施設	・保育所・幼稚園の事業参加施設数 107施設	・保育所・幼稚園の事業参加施設数 112施設	・保育所・幼稚園の事業参加施設数 112施設	A	保育所・幼稚園の参加施設数が年々増加し、事業への関心理解が深まっており、今後は、さらに小・中・特別支援学校の参加人数を増やすため、各学校への働きかけを工夫する必要がある。	子ども図書館
	4 読み聞かせの実施 【重点】	・子育て関連施設での絵本の読み聞かせの実施 ・子どもが読書に親しめる環境づくり	・指導員を放課後児童クラブ等に派遣し、絵本の読み聞かせ等を実施することにより、子どもの読書意欲を高める。 ・放課後児童クラブ等活動支援事業にて、指導員を放課後児童クラブ等に派遣し、読み聞かせ等を実施する。	・読み聞かせを合計31回実施 ※放課後児童クラブ13箇所 ※児童館2箇所	・読み聞かせ合計34回実施 ※放課後児童クラブ15箇所 ※児童館2箇所	・随時実施中	B	実施回数も徐々に増加しており、進捗状況としては順調である。	子家/総務企画課 子育て支援課 青少年課	
		・子育て関連施設における子ども向け事業 ・読み聞かせ等イベントの開催	・絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を通じて、子どもたちに本の楽しさを体感してもらい、子どもたちと本を結びつける。 ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びを実施する。	〔こども文化会館〕 「おはなしワールド」を、概ね毎月第4土曜日(8・12月を除く、全10回)。参加者:延べ146人 【子どもの館】 平日13時～、毎月第1土曜日【子育てふれあい交流プラザ】 毎週木曜 その他年に5.6回イベント	〔こども文化会館〕 「おはなしワールド」を、概ね毎月第4土曜日(8・12月を除く、全10回)。参加者:延べ181人 【子どもの館】 平日13時～、毎月第1土曜日【子育てふれあい交流プラザ】 毎週木曜 その他年に5.6回イベント	〔こども文化会館〕 「おはなしワールド」を、概ね毎月第4土曜日(8・12月を除く、全10回)実施中。 【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】 イベントも継続実施中	B	月ごとに参加人数は異なるが、子どもたちに本や紙芝居の楽しさを体感してもらった講座の目的が達成されていると見なしたため、順調とした。今後のより多くの子どもたちの参加につながるよう広報を工夫し、継続していく。来館者の増減により参加者は増減するものの、来館者の多くが参加し好評で、親子が読み聞かせに触れ合う機会として成果をあげているといえるため、順調とした。	子家/総務企画課 子育て支援課 青少年課	
		・市立幼稚園・小・中学校での読み聞かせの実施	・各幼稚園、小・中学校において、読み聞かせボランティアなど地域の協力を得ながら絵本等の読み聞かせを実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを進める。	・各幼稚園、小・中学校では、ブックヘルパーや保護者や地域の読み聞かせグループにより実施している。 ・学校図書館職員の研修において、ブックヘルパーの読み聞かせの取組について紹介した。	・各幼稚園、小・中学校では、ブックヘルパーや保護者や地域の読み聞かせグループにより実施している。 ・特別支援学校では学校図書館職員が実施している。	・学校図書館職員研修の際に、学校図書館職員による特別支援学校や小中学校の読み聞かせの実践発表を行った。	B	学校により読み聞かせを行っている学校とそうでない学校がある。また朝の時間に、読み聞かせを行っていたが、他の取組に代わっている学校もあり、読み聞かせの実態調査をおこなう。	指導第一課	
		・市民センターでの読み聞かせ子どもの読書活動に関する取り組み ・読書ボランティアの活動	・読み聞かせボランティアなど地域の協力を得ながら絵本等の読み聞かせを実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを進める。	・130館中、121館で読み聞かせ活動を実施した。 ・保護者・一般向けに対して読み聞かせに関する講座を開催した。	・130館中、122館で読み聞かせ活動を実施した。 ・保護者・一般向けに対して読み聞かせに関する講座を開催した。	・前年同様に実施中。 ※調査日現在、参加状況集計中	A	平成28年度及び29年度において、どちらも目標値を達成したため大変順調である。今後も市民センターの読み聞かせの実施が円滑に実施できるよう現状維持に努める。	市文/生涯学習課	
		・市立図書館での絵本等の読み聞かせ・おはなし会の実施	・読み聞かせボランティアなどの協力を得ながら、絵本等の読み聞かせを実施し、子どもが読書に親しめる環境づくりを進める。	実施状況 ・実施回数 897回 ・参加人数 18,886人	実施状況 ・実施回数 987回 ・参加人数 18,413人	・前年と同様に実施。 ・調査日現在、参加状況集計中。	B	地区図書館、分館で、概ね毎月数回の読み聞かせやおはなし会を行っている。参加人数は横ばいであるが、実施回数は増えており、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めたことから、順調とした。	中央図書館/奉仕課	

施策	主な取組み	取組み内容	事業計画(目標)	H28年度 取組み実績	H29年度 取組み実績	H30年度 11月16日現在	進捗 状況	コメント	関係課
I 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	5 学校や市立図書館以外における図書貸出	・おもちゃライブラリーでのおもちゃ・絵本の貸出し ・おもちゃの研究、相談業務	・療育と教育の一環として、おもちゃを通じて身体的・精神的発達を促すため、おもちゃの貸出、研究及び相談を行う。	・総合療育センター等4か所で、おもちゃや絵本の貸出を行う。 ・来館者数 3,531人 ・貸出人数 1,907人 ・貸出点数 6,105点	・総合療育センター等4か所で、おもちゃや絵本の貸出を行う。 ・来館者数 3,230人 ・貸出人数 1,684人 ・貸出点数 5,311点	・西部障害者福祉会館、光の子学園、千代分館の計3か所でおもちゃや絵本の貸出を行う。現在、貸出実施中。	B	年度実績に若干増減はあるものの、一定数の実績がある状況なので順調とした。引き続き、利用者増加への啓発を継続する予定。	保福/障害者支援課
		・子育て関連施設における児童向け図書の貸出し	・子どもの読書活動推進を図る ・図書の貸出を行う。	・児童書、絵本など子ども向け図書の貸出を実施。 〔こども文化会館〕 514人(1,304冊) 〔ひまわり文庫〕 280人(1,818冊)	・児童書、絵本など子ども向け図書の貸出を実施。 〔こども文化会館〕 525人(1,430冊) 〔ひまわり文庫〕 246人(1,955冊)	・前年と同様に実施中。	B	毎年、多少の増減はあるものの、一定数の本の貸出ができてきている状況であるため順調とした。今後も日々の本の整備を実施するとともに、利用しやすい環境づくりを目指していきたい。	子家/青少年課
		・ひまわり文庫の図書整備 ・ひまわり文庫における図書貸出の実施	・身近で子どもが読書に親しむ機会を提供するため、「ひまわり文庫」において、貸出図書の充実を図る。	取り組み実績 ・設置箇所数 128ヶ所 ・貸出者数 29,713人 ・貸出冊数 61,260冊	取り組み実績 ・設置箇所数 129ヶ所 ・貸出者数 30,224人 ・貸出冊数 55,685冊	・前年と同様に実施。 ・調査日現在、参加状況集計中。	B	概ね小学校区に1か所、設置しており、地域の身近な図書館として活用されている。配本の内容は、利用者の要望を取り入れて対応するように努めている。以上のことから、順調とした。	中央図書館/奉仕課
		・市民センターにおけるひまわり文庫や、市民センターの図書コーナーの設置を促進する。	・ひまわり文庫や図書コーナー(寄贈された本等が置いてあるスペース)の利用を通して、子どもを含む地域住民の交流を図る。	・全館で実施(129館)	・全館で実施(130館) ※若松区ひびきの市民センターが新設のため1館増	・全館で実施(130館)	A	希望した市民センターには、全館にひまわり文庫が設置、また、ひまわり文庫がない市民センターにおいても、図書館が併設されていたり、図書コーナーが設けられていることから、大変順調とした。	各区コミュニティー支援課
	6 家庭教育学級における子どもの読書をテーマとする講座の開催【重点】	・出前講演の実施等家庭教育学級開催支援	・家庭教育上の問題を相互学習の中で勉強する。 ・子どもの読書をテーマとする講座開催数 年間100回	・子どもの読書をテーマとする講座開催数 年間22回	・子どもの読書をテーマとする講座開催数 年間53回	・前年度同様に実施中 ※調査日現在、参加状況集計中	B	平成28年度は実績値を下回ったが、平成29年度には目標値を概ね達成したため、順調と評価した。引き続き、関係部署と連携・協力しながら取組みを継続する予定。	市文/生涯学習課
	7 ワーク・ライフ・バランスの取組みと連携した家庭の読書活動の推進【重点】	・ワーク・ライフ・バランスの取組み ・企業向け啓発チラシの作成・配布	・「家読」と「読書の日」を啓発するチラシを作成し、企業への配布を行う。	実績なし	・北九州活性化協議会にチラシ配布を依頼。 ・企業体への出前講演を行った。	・北九州活性化協議会にチラシ配布を依頼。	C	チラシの配布箇所の開拓及び配布方法の検討が必要。	子ども図書館
		・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・企業向け出前セミナー講師、社労士アドバイザー等派遣、啓発セミナーの実施	・女性活躍やワーク・ライフ・バランスを推進する企業の取組みを支援する。また、働き方の見直しの啓発のためのセミナー等を実施する。	・「出前セミナー」、「社会労務士派遣」「働き方見直しの啓発セミナー」の実施 33回実施(目標37回)	・「出前セミナー」、「社会労務士派遣」「働き方見直しの啓発セミナー」の実施 35回実施(目標38回)	・「出前セミナー」、「社会労務士派遣」「働き方見直しの啓発セミナー」の実施 ・目標の39回開催に向けて実施中。	B	目標をやや下回ってはいるものの、ほぼ達成できているため順調とした。引き続き企業等への呼びかけを行い、推進を図っていきたい。	総務/女性活躍推進課
	8 専門家による出前セミナーの実施【重点】	・企業・市民センター・子育て関連施設等での専門家によるセミナーの開催	・「出前セミナー」の広報を積極的に行い、セミナーを開催数する企業等を増やすようにする。	※学校、市民センター、子育て関連施設を訪問し、出前講演を行った。	・市内4箇所で開催し、379人が参加。	・11月までに、市内2箇所で開催し、257人が参加。	B	対象となる子育て関連施設や企業に、セミナー開催の働きかけを行っている。今後も、出前セミナーの内容を積極的にPRするなどの取組みが必要。	子ども図書館